

システムセキュリティ管理強化等支援業務仕様書

1. 業務目的

令和4年10月31日に発生した大阪急性期・総合医療センター（以下「当センター」という。）におけるランサムウェアによる大規模システム障害事案をふまえ、システムセキュリティ専門家による支援を受けることで、現在当センターで稼働している各種情報システム、医療機器などの脆弱性確認およびそれに対するセキュリティ要件の見直し・強化を図ることを目的とする。

2. 履行期間

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

3. 業務内容

①第7期総合情報システム運用におけるセキュリティ評価および対策強化支援

- ・電子カルテ等の基幹システムほか、部門・診療科で稼働する医療情報システム、ネットワーク機器及び医療機器のセキュリティ対策のリスク評価及び保護対策の助言など
- ・各システム等に関連するソフトウェアコンポーネントの脆弱性診断情報の収集支援

②第7期総合情報システム、ネットワーク及び医療機器などの脆弱性診断

- ・電子カルテ等の基幹システムほか、部門・診療科で稼働する医療情報システム、ネットワーク機器、医療機器の脆弱性スキャン、脆弱性診断の実施
- なお、スキャン、診断の実施方法については、別途、当センター担当職員と協議の上決定すること。

③第7期総合情報システムにおけるActive Directoryの運用、保守の支援

- ・グループポリシーの設定評価と見直しの支援
- ・認証基盤の強化支援
- ・ユーザー登録システムの構築支援

④病院ホームページ更新に係るセキュリティ対策支援

- ・病院ホームページ更新に係る専門的・技術的助言および指導など

④院内セキュリティ研修の実施

- ・当センターで勤務する職員等向けのセキュリティ研修の実施
- なお、全体研修は期間内に1回を想定しているが、研修内容、実施方法、実施日時などについては当センター担当職員と協議の上、決定すること。

⑤医療情報システム及び医療機器等導入・更新における専門的支援

- ・医療情報システム及び医療機器等導入・更新に係る専門的・技術的助言および指導など
- また、必要に応じてベンダーとの打合せに参加すること。その際はオンサイトでもリモートでも構わない。

⑦その他

- ・当センター職員（委託業者含む）へのセキュリティに関する専門的、技術的質問に対する対応
- ・その他業務目的を遂行するために必要な支援

4. 成果品

- ・ 支援業務報告書
- ・ その他、当センターの要請により作成した資料等

以上